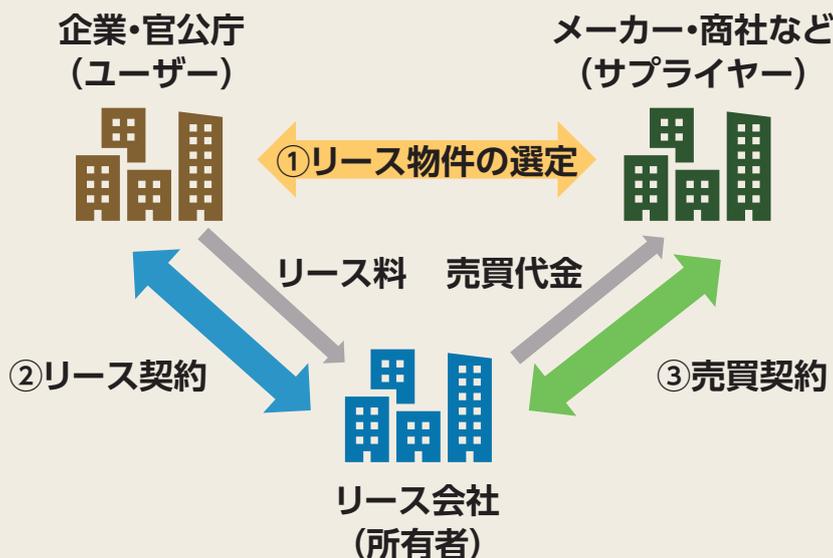




# リースの基本

- リースは、企業・官公庁が選んだ物件を長期間にわたって貸す取引であり、企業・官公庁に物件の使用価値を提供する取引です。
- 多くの企業・官公庁にリースをご活用いただいております、国内外で約9兆円(2023年度)のリース取引が行われています。



## ユーザー

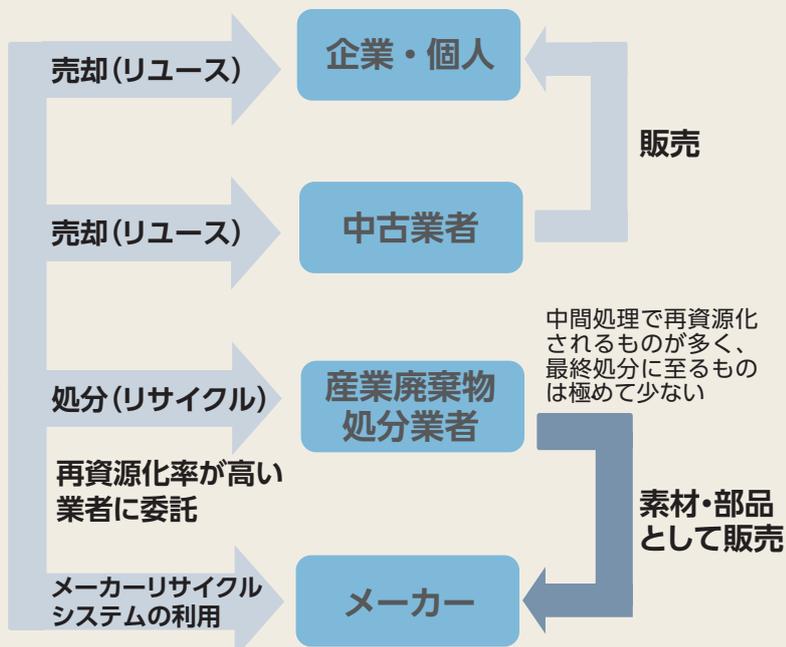
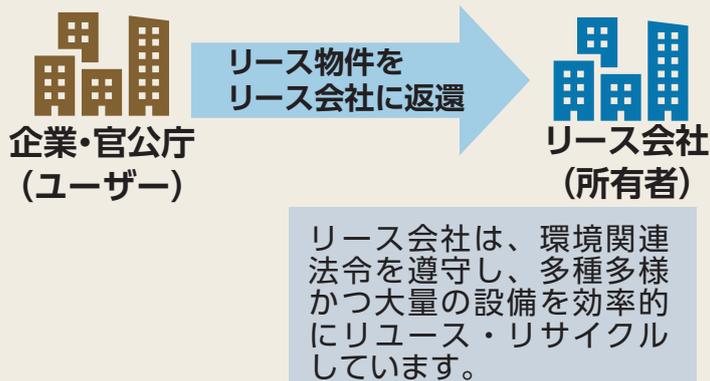
- 設備導入時に多額の資金が不要です。
- リース料は定額支払いのためコストを容易に把握できます。
- 設備所有に伴う事務管理の省力化ができます。
- リース期間が終了した後、リース物件をリース会社に返還することにより、環境関連法制に適切に対応できます。

## サプライヤー

- 設備の販売を促進できます。
- リース会社が物件代金を支払います。代金の回収リスクがなくなります。
- リース期間満了のタイミングで設備更新の商談が容易になります。
- 大量の資産を有するリース会社と連携することにより、効率的な資源循環を行うことができます。

# リースと資源循環

- リース契約が終了した物件はリース会社に返還され、リユース(再使用)・リサイクル(再資源化)が行われています。



# リースの資源循環目標

- リース業界として、サーキュラーエコノミーの実現に貢献するため、定量的な資源循環目標を制定しました(2024年9月)。
- リース会社が目標に向けた取組を進めていくことにより、リース物件の更なる資源循環を目指してまいります。

## リース業界全体の目標

リース満了物件の有効利用率を95%以上とする  
(2030年度目標)

$$\text{有効利用率} = \frac{\text{X年度に再リース契約へ移行したリース契約} + \text{X年度のリース終了物件の売却・廃棄}}{\text{X年度にリース期間が満了したリース契約}}$$

注) 有効利用率は、リース物件(ソフトウェアを除く)の当初取得価額ベースで算出します。

※再リース(リース物件の長期使用による廃棄物の発生抑制)、売却(リース物件の長期使用による廃棄物の発生抑制又は素材等の再利用による資源の有効利用)、廃棄(再資源化率が高い産業廃棄物処分業者に処分を委託する等による資源の有効利用)

## プラスチックに関する目標

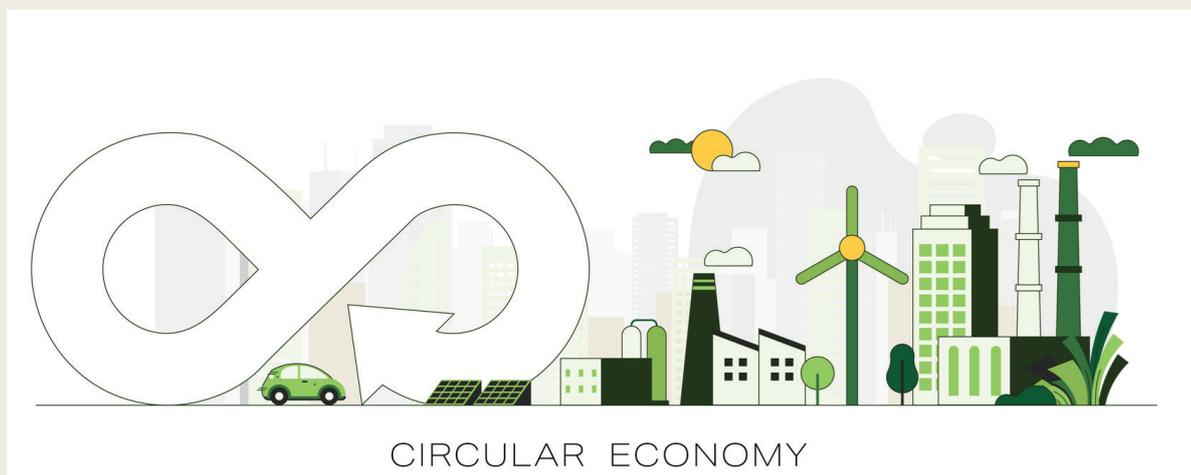
廃プラスチック(リース終了物件)  
の再資源化率を90%以上とする  
(2030年度目標)

$$\text{再資源化率} = \frac{\text{X年度の廃プラスチック再資源化量 (マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル、サーマルリサイクル)}}{\text{X年度廃プラスチック排出量}}$$

注) 再資源化率は「プラスチック資源循環促進法-リース会社向けガイダンス(第2版)」(2023年10月)で示している「再資源化率」により算出します。

# リースは資源循環の第一歩

- リース物件はリース会社が所有し、リース期間が終了した物件はリース会社に返還され、リユース・リサイクルされており、リースは効率的な資源循環に貢献できる仕組みです。
- リースを利用すること、そのことがすでにサステナブル実現への第一歩ともいえます。



リース産業として持続可能な社会に貢献してまいります。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### リースは持続可能な社会の実現に貢献

ビジネスパートナー（メーカー・サービス提供会社など）と連携

#### 創業・新規事業・技術革新の促進

リースを活用することにより、設備導入や設備更新のハードルが下がり、創業・新規事業創出・技術革新を促進

#### 設備投資の促進

リースを活用することにより、新規の設備投資、環境負荷の少ない設備の更新投資を促進

#### 循環型社会形成の促進

リース会社が設備のライフサイクルをトータルでマネジメントすることにより、循環型の設備利用・処分を促進

出所：リース事業協会「リースとSDGsに関する調査研究報告書(2021年10月)」



公益社団法人リース事業協会

JAPAN LEASING ASSOCIATION

東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル13階



ホームページ

<https://www.leasing.or.jp/>



本パンフレットの著作権は、公益社団法人リース事業協会に帰属します。無断で引用・複製することを禁じます。